

【単元のポイント】

合同な図形

5年生 算数 第7単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【B 図形】B(1) 平面図形の性質

合同な図形の意味や性質について理解すること。図形の合同について理解すること。

◆ 評価の 3 観点における目標

【知識・技能】

- 合同な図形の意味を理解している
- 対応する頂点・辺・角を見つけられる
- コンパスや定規を使って合同な図形を作図できる

【思考・判断・表現】

- 図形が合同かどうかを根拠をもって説明できる
- 三角形の合同条件を用いて判断できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 合同な図形を身の回りから見つけようとしている
- 作図に粘り強く取り組んでいる

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 合同の定義

- 2つの図形がぴったり重なるとき「合同」という
- 裏返して重なる場合も合同
- 対応する辺の長さが等しい、対応する角の大きさが等しい

2. 三角形の合同条件

- 3つの辺がそれぞれ等しい
- 2つの辺とその間の角がそれぞれ等しい
- 1つの辺とその両端の角がそれぞれ等しい

3. 作図の方法

- コンパスで辺の長さを写し取る
- 分度器で角度を写し取る
- 合同条件を使って最小限の情報で作図

4. つまづきやすいポイント

- 対応する頂点・辺・角の対応関係を取り違える
- 「裏返し」で合同かどうか判断に迷う
- 作図で三角形が一意に決まることの理解

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 視覚的理解：実際の図形を見比べて合同を判断させる
2. 対応関係：頂点の対応を丁寧に確認させる
3. 合同条件：3つの条件を段階的に指導
4. 作図練習：コンパス・定規を使った作図を十分に